

つながり ～絆～

私たちは、生まれてからこれまでに、いったい何人の人たちと出会ったのでしょうか。そして、これから先、どれだけの人たちと出会うのでしょうか。

顔を合わせただけの人、言葉を交わし挨拶をする相手…
共に笑い遊び楽しむ仲間、悩みを語り合える友…
自分の目標となるような人物、反面教師として自分の成長に役立つ人…
決して忘れられない人、できれば忘れてしまいたい人…

その出会いから何を学んだでしょう。さまざまな人との出会いを通して、お互いが多くのことを学び、試行錯誤をしながら共に成長します。子どもは親から学び、親もまた子どもから多くを学びます。

かけがえのない人たちとのつながり…それらが「絆」をより強くしていきます。

「絆」が強くなれば、相手を自分と同じように考えるようになります。相手の喜びや悲しみを自分のことのように感じ、お互いの理解や協力、思いやりもより強くなります。これが「愛」です。しかし反面、相手に求めることも多くなり、その願いが適わないと憎しみや怒りとなります。「あなたのためを思っているのに、どうして分からないの!」

たとえ親子でも、気が合う仲間でも、価値観が全く同じ人はいません。似ている部分が多いと全てが同じと勘違いをしがちになります。そして、その勘違いは、親子、夫婦、親友など「絆」が強い人ほど大きいと言われます。「分かっている」が「誤解」の始まりです。

真の「絆」「愛」には「お互いの価値観の違いを認めた上で、相手の生き方や考え方を尊重する」という姿勢を常日頃から心がける必要があるのです。

「出会いは別れの始まり」ですが、失って始めてその出会いや機会の大切さに気付くことのないように、亡くして始めてその人の自分への影響力の大きさに気付かされないように、これまでの出会いとつながり、「絆」の有難みを思い起こし、大切にしていきましょう。

そして「自分の成長にとって必要な人とは、必ず巡り合う」とも言います。これからの出会いを大切に、そのつながりを育て、絆を強くしていきましょう。